

# 大浜体育館建替(武道館併設)整備基本構想【概要版】

## ■基本構想の背景

### ○スポーツをとりまく環境

- ・国においては、国家戦略として、スポーツ立国の実現をめざしている。
- ・堺市においては、平成 24 年 9 月に「堺市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツを通じて、明るく元気で活力あるまち「スポーツタウン・堺」の実現をめざしている。

### ○市内の体育館

すべての行政区に体育館があるが、大浜体育館は武道場としての設えを整えた柔道場及び剣道場を有しており、武道振興の拠点となっている。

### ○上位計画(堺市マスタープラン)

未来を拓く人材をはぐくむ教育環境の充実をめざし、重点事業のひとつとして、「スポーツ環境の整備」を掲げ、施設の計画的な改修等と、武道館の整備が位置付けられている。

## ■大浜体育館の現状と課題

### 大浜体育館の現状

#### ○大浜体育館の概要

- ・開館日：昭和 46 年 9 月
- ・所在地：堺市堺区大浜北町 5 丁
- ・施設構成：大体育室(観覧席 647 席)、小体育室、柔道場、剣道場、トレーニング室、研修室、公園駐車場(405 台)等

#### ○大浜体育館の特徴

- ・歴史ある大浜公園内に立地
- ・市の体育館で利用者が約 17.5 万人と一番多い
- ・大小体育室の土日の利用率はほぼ 100%
- ・スポーツ競技大会での利用も多い
- ・南海本線堺駅に近く、交通アクセスに優れている

### 利用ニーズの整理

#### 体育室

- ・老朽化の改善、機能の充実
- ・運動スペースの拡充、安全確保
- ・観覧席数の拡充、設備の充実

#### 柔道場、剣道場

- ・観覧席の設置、機能の充実
- ・会場としての利便性の向上

#### その他

- ・ダンス利用の鏡や防音設備
- ・授乳室、キッズスペース等の設置
- ・駐車台数の拡充

### 大浜体育館の課題・要望

#### ○利用者アンケート調査

〈現体育館の課題・要望〉

- ・大体育室のコート間隔が狭い
- ・大体育室の観覧席が少なく、見にくい
- ・道場に観覧できるスペースがない
- ・道場で大会を行うときの靴置場がない
- ・鏡のある部屋がない など

〈新体育館への期待〉

- ・武道館があれば武道に親しむきっかけが増える
- ・ダンス利用を考慮した部屋がほしい
- ・キッズスペースがほしい など

#### ○利用団体アンケート調査

〈現体育館の課題・要望〉

- ・大体育室のフロアが狭い
- ・観覧席が一方向にしかなく、少ない
- ・役員室、控室が狭い
- ・道場が狭く、畳・床が老朽化
- ・堺駅までの夜間の通行が不安 など

〈新体育館への期待〉

- ・全国大会が開催できる施設
- ・幅広い世代が気軽に利用できる施設
- ・武道館を併設することは賛成
- ・駐車台数を増やしてほしい など

## ■基本コンセプト

### 現体育館機能の継承・充実

### ■求められる機能

- 安全で快適にスポーツが行える施設
- 武道振興の拠点となる施設
- 公園周辺との一体性が図られた施設
- 誰もが利用しやすい施設
- 観るスポーツを充実させる施設
- 非常災害時に活用できる施設

### ■整備方針

生涯スポーツ・  
競技スポーツの推進

武道館の併設

大浜公園の魅力向上

## ■施設整備の方向性

### 主な施設構成

#### 体育館

- ・大小体育室を統合し、可動間仕切りを採用
- ・観やすさに配慮し、観覧席数の拡充
- ・トレーニング室や研修室、授乳室を整備

#### 武道館

- ・道場を一行にし、可動間仕切りを採用
- ・武道に相応しい意匠の設えとし、観覧席を設置

※なお、体育館と武道館を併設することで、更衣室などの相互利用や補完利用が可能となる

### 施設規模の方向性(現体育館機能の継承・充実)

#### 体育館

- ・バスケットコートでは 3 面分
- ・柔道競技場では 8 面分
- ・固定観覧席に加えて、可動観覧席を設置

#### 武道館

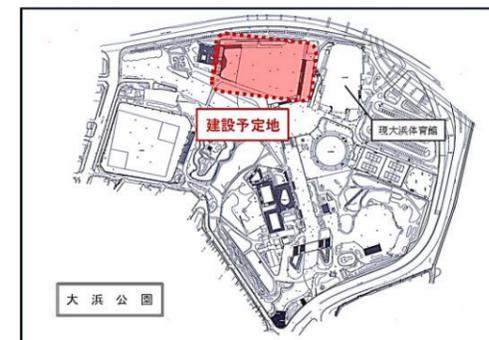
- ・道場 4 面(畳敷 2 面、板敷 2 面)
- ・固定観覧席を設置

※なお、詳細な施設規模については、次年度に策定する基本計画にて定める

### 整備予定地

#### ○大浜公園内の市民広場に移転建替え

- ・利用率が高く、休館しての現地建替えは困難〈効果〉
- ・大浜公園のメインストリート奥正面に位置することで、ランドマーク的存在となる



#### ○公園全体の再整備

- ・体育館の基本計画策定とあわせて、大浜公園の再整備に係る基本構想を策定する

### 財源・スケジュール

#### ○整備財源

- ・社会資本整備総合交付金を活用するなど、整備に係る財源の確保に努める

#### ○整備スケジュール

- ・平成 32 年度のオープンをめざす
- ※なお、詳細は次年度策定の基本計画にて定める